

安全データシート (SDS)

作成：2020年12月25日

改訂：初版

1. 化学品及び会社情報

製品名：アルコライフ
供給者の会社名称、住所及び電話番号
会社名：辻製油株式会社
住所：〒515-2314 三重県松阪市嬉野新屋庄町 565-1
担当部門：品質保証部
電話番号：0598-42-1739
FAX番号：0598-42-1720

2. 危険有害性の要約

【化学品の GHS 分類】

引火性液体 : 区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 2B
生殖毒性 : 区分 1A
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分 1 (肝臓)、区分 2 (神経)

【GHS ラベル要素】

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

【危険有害性情報】

引火性の高い液体および蒸気
眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
長期にわたる又は反復ばく露による肝臓の障害
長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ

【注意書き】

・火花や裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。

- ・容器を密閉しておくこと
- ・火花を発生させない工具を使用すること。
- ・静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- ・煙、ガス、蒸気を吸入しないこと。
- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

No.	化学名または一般名	CAS No.	成分及び濃度 又は濃度範囲	官報公示整理番号
1	エタノール	64-17-5	72.73 %	2-202
2	乳酸ナトリウム	72-17-3	0.03 %	2-1376
3	水	7732-18-5	27.24 %	対象外

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぎ、流水で洗うこと。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。医師の手当てを受けること。
- 眼の刺激が続く場合 : 医師の手当てを受けること。
- ばく露またはばく露の懸念がある場合 : 医師の手当てを受けること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水、粉末、炭酸ガス など
- 使ってはならない消火剤 : 棒状放水
- 特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。容器が熱に晒されている時は移さない。
- 消火を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火作業は風上より行い、作業の際には必ず保護具を着用。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 適切な保護具(手袋、眼鏡、防毒マスク)を着用し、作業する。関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項 : 少量の場合は紙、布等でふき取り、それらは適切に処分する。環境中に放出してはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 火気を遠ざけ、バケツ、ヒシヤク等で汲み取り、密閉できる容器に移した後、可能な限りぬぐい取る。ぬぐい取ったものは適切に処分する。回収できなかった場所へは大量の水で洗い流す。
- 二次災害の防止法 : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに、消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

- 技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 安全取扱注意事項 : 熱、火花、裸火等の着火源から遠ざけること。
- 接触回避 : 火気を近づけないこと。
- 衛生対策 : 取扱後はよく手を洗うこと。

【保管】

- 安全な保管条件 : 密閉容器に入れ冷乾所にて保管する。
- 安全な容器包装材料 : 高密度ポリエチレン製容器 (PE/HDPE)

8. ばく露防止及び保護措置

【設備対策】

取り扱いについては、火気のない換気のよい場所で行う。

【許容濃度】

STEL 1,000ppm (ACGIH)

【保護具】

- 呼吸用保護具 : 高濃度の場所では有機ガス用防毒マスクを着用する。
- 手の保護具 : ゴム保護手袋
- 眼、顔面の保護具 : 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣、帯電防止衣服

9. 物理的及び化学的性質 (エタノール 100%として)

物理状態	: 常温で液体
色	: 無色透明
臭い	: 特有の芳香
融点/凝固点	: -117.3 °C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 78.3 °C
可燃性	: データなし
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	: 空気中で 下限 3.3vol%、上限 19.0vol%
引火点	: 12.8 °C
自然発火点	: 422.7 °C
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に可溶、殆どの有機溶剤に可溶
n オクタノール/水分配係数 (log 値)	: -0.31 (EXP)
蒸気圧	: 59.3mmHg (25°C)
密度及び/又は相対密度	: 0.7947 (15°C/15°C)
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の条件下では反応性はない。
化学的安定性	: 通常の取り扱いにおいては安定。
危険有害性反応可能性	: 硝酸や硝酸銀などの強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
避けるべき条件	: 直射日光や高温下を避ける。
混触危険物質	: 次亜塩素酸カルシウム、アンモニア、硝酸銀などの酸化剤
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素

11. 有害性情報 (エタノール 100%として)

急性毒性	: 経口 ヒト	LDLo	1,400mg/kg	行動、胃腸 (吐気)
	: 経口 ラット	LD50	7,060mg/kg	呼吸器系
	: 経口 ヒト(男)	LDLo	700mg/kg	行動 (精神生理学上)
	: 吸入 ラット	LC50	20,000ppm/10h	毒性未評価
	: 注射 ラット	LD50	1,440mg/kg	呼吸器系
	: 注射 犬	LDLo	1,600mg/kg	運動失調、呼吸器系
	: 腹腔 哺乳類	LD50	4,300mg/kg	運動失調
	皮膚腐食性/刺激性	: 皮膚 ラビット	400mg 開放	症状 (軽度)
: 皮膚 ラビット		500mg/24h	症状 (重度)	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: OECD TG405 及び Draize test に従った試験により中等度の刺激性と評価されている。			
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 情報なし			
生殖細胞変異原性	: ラット及びマウスにおける優勢致死試験において、陽性結果の報告はあるが、極めて高い用量での知見であり、再現性も認められてない標準的 in vivo 及び in vitro 変異原性試験、エームス試験はすべて陰性である。			
発がん性	: ACGIH は、エタノールを動物実験のデータに基づいて A3 に分類しているが、ヒトに対しては不明であるとの但し書きがある。			
生殖毒性	: アルコールの習慣的な大量摂取によりヒト胎児に対する奇形その他の悪影響が多数報告されている。			
	: 吸入 ラット	TCLo	20,000ppm/7h	妊娠、1~22 日発育異常
	: 経口 ラット	TDL0	44g/kg	妊娠、7~17 日発育異常
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: ヒトでエタノールの経口摂取により中枢神経に影響を与え、頭痛、疲労、集中力を低下させ、急性中毒の場合には死に至ることがある。 ヒトで 5,000ppm(9.4mg/L)の吸入により、気道刺激性、昏迷、病的睡眠を起こす。			
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: ヒトでアルコールの長期大量摂取によりほとんどすべての器官に障害を起こすが、最も悪影響を与える臓器は肝臓である。障害は脂肪変性に始まり、壊死と繊維化を経て肝硬変に至る。 アルコール中毒患者の禁断症状 (振戦症状、てんかん、精神錯乱)			
誤えん有害性	: 情報なし			

1 2. 環境影響情報 (エタノール 100%として)

生態毒性	: マスの幼魚 LC50 11.2g/L・24h コイの一種 LC50 18~13.4g/L・96h グリーンクチャブ LC50 7.0g/L・24h グッピー LC50 11.0g/L・7day
残留性・分解性	: 理論酸素要求量(ThOD) 2.10 BOD5 理論酸素要求量の 44~80% COD 理論酸素要求量の 90~100% バクテリア硝酸能の抑制 4,100mg/L でニトリモナス類のアンモニア酸価の 50%抑制
生態蓄積性	: 知見なし
土壌中の移動性	: 知見なし
オゾン層への有害性	: 知見なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 産業廃棄物として処理する場合は、許可を受けた処理業者に委託する。
汚染容器及び包装	: 内容物を完全に除いた後処分する。処理は法規の規定に従って行う。

1 4. 輸送上の注意

【国際規制】

国連番号	: 1987
品名 (国連輸送名)	: ALCOHOLS, N. O. S
国連分類	: 引火性液体類 クラス 3
容器等級	: II
海洋汚染物質	: 非該当

【国内規制】

陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法等に定められている輸送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法、港則法等に定められている輸送方法に従う。
航空輸送	: 航空法等に定められている輸送方法に従う。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	: 容器を転倒、落下等粗暴な取り扱いをしない。火気厳禁。 消防法危険物の第一類及び第六類と混載しない。
緊急時対応措置指針	: 指針番号 127

1 5. 適用法令

消防法	: 第四類 引火性液体 3 アルコール類 (指定数量 400L)
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
労働安全衛生法	: 危険物 第 4 号 引火性のもの 3 (エタノール) 名称等を通知すべき有害物 61 (エタノール)
危険物船舶輸送及び貯蔵規則	: クラス 3 引火性液体類
航空法施行規則	: 引火性液体 3 (引火点 60℃以下)
PRTR 法	: 該当しない

海洋汚染防止法 : Z 類物質 (エチルアルコール)
食品衛生法 : 食品添加物

16. その他の情報

【引用文献】

- 1) GHS 対応ラベルおよび SDS の作成マニュアル (厚生労働省医薬食品局)
- 2) 化学品の GHS 対応 SDS を作る本 JIS Z 7252/7253:2019 準拠 吉川治彦 丸善出版 (2019)
- 3) 2014 年度版 16514 の化学商品 化学工業日報社 (2014)
- 4) 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS 分類結果 物質 ID:21B3016 (エタノール)
- 5) 厚生労働省 職場の安全サイト GHS 対応モデルラベル・モデル SDS 情報 (エタノール)

【記載内容の取扱い】

この SDS は JIS Z 7252/7253:2019 に準拠しております。記載内容は現時点で当社が入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また注意事項は通常の見取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。